

大震災 NEWS

阪神・淡路大震災関西対策委員会では、その後の被災地の状況や活動をお知らせし、またご協力を呼びかけるため、本欄に継続的に情報を掲載します。

●阪神・淡路大震災関西対策委員会は1995年6月15日付けで「阪神・淡路大震災に伴う資料保存等について（お願い）」の文書を出しているが、それが各現場でどのように受け入れられてきているのかを検証するため、9月をめぐりに被災地の図書館を回り、実態をさぐる予定にしている。

●本誌7月号にて、阪神・淡路大震災関西対策委員会への意見を募ったところ、松岡要常務理事から「被災地の図書館の復旧・復興・予算等の調査とボランティア等の活動状況について知らせてほしい」旨の意見が寄せられた。

●被災地の図書館資料費が減額しているという情報がある中、実態の把握につとめている。

●【新聞記事から】

①1995年7月15日付けの毎日新聞

に神戸市立中央図書館が、大震災関連資料の提供を市民に呼びかけているとの記事が連載されている。

②1995年8月5日付けの産経新聞には、神戸市立中央図書館に開設した震災図書コーナーの記事が写真付きで掲載。

③1995年8月2日付けの産経新聞は、兵庫県立図書館が震災関連図書等を収集した「フェニックス・ライブラリー」を今秋設置することを決定したと報じている。新聞によると、あらゆる刊行物を後世に残し、県民に利用してもらうのが目的、としている。

●【協力のお願ひ】

『図書館年鑑1996』に阪神淡路大震災の特集を組むことが決定されました。おもに施設委員会の調査報告、写真、被害実態一覧、図書館の活動記録などを中心に特集を組む予

定にしています。対策委員会としても協力することとし、これに伴い、さまざまな作業を行なうこととなります。当面委員会事務局としては「阪神・淡路大震災関係の新聞記事の収集」、また「大震災に関連して、全国の自治体および図書館で取り組んだ被災地図書館への支援などの情報収集」をすることにしました。

ご多忙中とは存じますが、ぜひ、ご協力をお願いいたします。情報の送り先は次のとおりです。連絡先：服部裕太（吹田市立中央図書館）〒564大阪府吹田市出口町18-9 ☎06-387-0071 FAX06-339-7144

※FAXの場合、大幅に文字がくずれることも考えられるので、できれば郵送をお願いします。